

# 地域医療 連携室だより

No. 23

2026年1月発行

社会医療法人みゆき会

 みゆき会病院  
Cure & Care

## 新年のご挨拶

みゆき会病院 副院長・看護部長 渡邊 修

新年あけましておめでとうございます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

旧年中は、地域の医療・福祉機関の皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが変更され、社会全体が新しい日常へと大きく舵を切った一年でした。長らく続いた制限のある生活から解放されつつある一方で、インフルエンザなどの感染症が例年通りに流行するなど、医療を取り巻く環境は引き続き変化に富んでおります。このような状況の中、当院が地域の中核病院としての役割を果たし、患者様により良い医療を提供できるのは、ひとえに地域の皆様との日々の連携の賜物と、改めて深く感謝申し上げます。

我が国は、世界に類を見ないスピードで超高齢化社会へと突入しており、医療・介護のニーズは多様化・複雑化しております。この上山市も例外ではなくさらに深刻な状況です。地域の皆様が「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる」という地域包括ケアシステムの構築は、目標としてきた2025年を過ぎ次なる2040年を見据えた喫緊の課題であり、私たち医療・福祉に携わる者共通の願いでもあります。

当院の地域医療連携部は、急性期治療を終えた患者様が、安心して在宅や地域の施設へ移行できるよう、入院前から退院後までを見据えた切れ目のない支援に取り組んでおります。このプロセスにおいて皆様との多職種連携・協働は欠かせません。顔の見える関係を大切に情報共有や、お互いの専門性を尊重したチームアプローチが、患者様やご家族の安心につながるものと考えます。そして地域のニーズを敏感に捉え、医療と介護が密接に連携することで、地域の皆様にとって最善のケアを提供することが可能となります。当院ではケアミックス型病院の特徴を活かし、患者様が在宅に戻るための体制と環境を整える支援も強化しております。地域の皆様がお困りの際にはお気軽にご相談いただければ幸いです。本年も、当院は地域の皆様のために関係各所の皆様との連携をますます推進していく所存ですのでどうぞよろしく願いいたします。

皆様からの引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますとともに、本年が皆様にとって健やかで実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 精神疾患を抱える患者様へ入院前支援から関わったケース

脊柱後側弯症の30代の方、統合失調症で向精神薬を服用しており、薬剤性ジストニアで急速に症状が進行した方です。障害福祉サービスを利用し、グループホームに入所していました。元々は他の入所者と家事を分担して行い、一人で外出もされていた方ですが、当院受診時はサニーウォーカーや杖がないと歩行できない状態でした。

外来受診に合わせ、ご本人とご両親に入院前支援を実施し、入院生活の説明や身体的・社会的・精神的背景を含めた情報収集を行いました。そのなかで「精神疾患により環境の変化や対人関係によるストレスを感じやすい」「脊椎の広範囲手術のため、手術後は立ち上がりや寝返り、入浴、靴下を履く、生活全般に於いて工夫が必要になる」など、様々な課題が明らかになりました。ご本人へ、手術後に禁忌となる動作（屈曲制限）及び必要となる物品（マジックハンド等）について詳しく説明しました。介入後、ご本人が必要物品を購入し、さらに入院前リハビリで使用方法について説明を受けたことで、入院中や退院後の生活がイメージできたようで、入院まで必要物品の準備をすることができました。

また、院内の多職種に向けて入院前の病棟カンファレンスにて情報提供を行い、既往に配慮した関わりや病室の準備、薬の飲み合わせ等について、準備を整えた上で入院することができました。

入院後しばらくはご本人が落ち着くまで母親が付添い、持参薬を継続したことで、比較的安定した状態で療養生活を送ることができました。また、早期に医療ソーシャルワーカーが介入し、ご本人とご両親の意思を確認しました。治療後まずは自宅へ退院しその後グループホームへ再入所するという方向性が決まりました。術後の経過もよく、日々リハビリに励まれ、無事独歩で自宅へ退院されました。

今回のケースではご本人の精神疾患に配慮し、不安を軽減できるよう努めました。また、多職種と連携しながら、入院中の患者様・医療従事者双方の安心・安全につながったのではないかと感じています。今後も退院後の生活を見据えながら、患者様のQOLを高められる入院支援に取り組んでまいります。（入退院支援室 看護師）

## 「地域医療連携部」を創設しました

当院入退院支援室と医療福祉相談課は令和7年10月より新たに創設した「地域医療連携部」へ所属となりました。医事課職員1名、看護師4名、医療ソーシャルワーカー5名で担当しております。入退院支援室と医療福祉相談室のスタッフが同室で業務を行っており、細やかな情報共有が可能です。外来受診のサポートや自宅・施設へ安心して退院していただけるよう、今後もこれまで以上に関係機関との連携を図ってまいります。今後ともよろしく願いいたします

◆主な業務内容：病診連携による外来予約、病病連携による転院相談・調整及び退院調整

## 外来予約・転院予約について

## ●外来予約

医事課へ電話かFAXでご紹介ください。ご紹介いただいた患者様は、お待たせすることなく診療科へご案内いたします。

T E L : 023-672-8282 (代表)

F A X : 023-673-1523 (代表)

## ●転院予約（地域医療連携室）

急性期治療後のリハビリや療養目的等の患者様のご紹介は、入退院支援室までご連絡ください。

T E L : 023-672-8282 (代表)

F A X : 023-673-2561 (直通)

◆外来予約申込書と転院依頼表は、当院ホームページよりダウンロードしていただけます。QRコード読み取りでご覧いただけます→

